



# 栄養教諭を中核とした食育推進事業

—幼児期から高校までの食育推進事業—



## 背景・課題

- ◆食生活に対する意識の低下
- ◆望ましい食習慣の形成
- ◆野菜摂取率の一層の向上
- ◆子どものころからの生活習慣病予防対策（オリーブの活用）

## 食育推進体制の充実

小豆島町学校食育推進委員会・食育担当者会

◆食育推進のためのネットワークづくり

アンケート調査の実施（7月→11月）

\*調査対象は、小学校4年生及び中学校2年生（いずれも推進校）

## ◆朝食での野菜摂取率

☆小学校 45.0%→61.0% ★中学校 59.0%→58.0%

## ◆朝食での野菜4品以上

☆小学校 0%→15.0% ☆中学校 0%→14.0%

## ◆家庭におけるオリーブオイル使用率

☆小学校 42.5%→74.2% ☆中学校 37.3%→58.2%



## 幼・小・中・高における指導の充実

### 朝食指導及び野菜摂取率の向上

＜幼稚園＞

「食」の楽しさ



＜小学校＞

野菜の大切さ



＜中学校＞

自己管理能力



＜高校＞

実生活への活用  
地域への啓発



### 生活習慣病予防健診の実施

町内の小学校4年生と中学生の希望者に血液検査を実施  
⇒ 受診率 78.8% (うち基準値を外れた児童生徒の割合 13.6%)



## 取組の具体的内容

### 地場産物の活用（オリーブを中心に）

### オリーブトッパプロジェクト

### オリーブを用いた健康・長寿の島づくり



＜全面的にオリーブオイルに切り替えて初めての給食＞  
(5月1日)



＜オリーブの専門家の方の話を真剣に聞く児童＞



＜オリーブ給食で高校生が幼稚園を訪問＞



### 学校・家庭・地域の連携協力

### 食改の方の協力や学校給食試食会の実施



＜ヘルスサポート事業＞



＜野菜の大切さを親子で考える授業＞

### 啓発資料の作成・配布



## 期待される効果

- ★幼から高までの食育推進
- ★町全体での生活習慣病予防
- ★島民の健康増進

健康・長寿の小豆島  
人間力の向上

家庭・地域

幼・小・中・高

栄養教諭

生産者

小豆島町教育委員会